



ABCプラットフォーム 大阪で全体会議を開催

アジア・日本双方でビジネスを創出することをめざし活動を続ける、アジア・ビジネス創出プラットフォーム(ABCプラットフォーム)の第4回全体会議が、2025年4月20日、開催された。今回、会場となったのは、2025年大阪・関西万博開幕直後の大阪。日本側からは、関経連の松本正義会長、鈴木博之国際委員長、和田知徳国際委員会アジアビジネス専門委員長をはじめとする関係者が、ASEAN各国からはABCプラットフォームを構成する経済団体の代表者など、総勢約70名が参加した。

会議翌日には万博視察を実施。参加した方々に未来社会を実感し、関西とASEANの経済界の絆を深める機会を提供した。

今号では、一連の会議の様相やABCプラットフォームの2024年度の活動等を紹介する。

ABCプラットフォームとは

“ア ジア・日本における具体的なビジネスの創出”、“アジアとの双方向のつながりの強化やそこから生み出される経済発展の実現による関西の発展”をめざし、アジア(ASEAN)7カ国の経済団体と当会が連携して2019年4月に設立したのが「ABCプラットフォーム」である。現在、その活動は、各国の経済団体等、構成メンバーの代表者などがおおむね年1回集まり、直近1年の活動報告と今後の方向性の協議・確認を行う「全体会議」と、その傘下の「テーマ別部会」(P.3~4参照)、2023年度から取り組みを開始した「ABC CHALLENGEサポートプログラム」(P.4~5参照)を中心に進められている。メンバーの各国経済団体から推薦を受けた企業7社に対し、当会が支援しビジネスマッチングを行う同プログラムでは、2年間で92件の商談、13件の成約ないし秘密保持契約等につながるという成果が出ている。

第4回全体会議

ABCプラットフォームでは、2019年4月に第1回全体会議(通称：桜会議)を大阪で開催して以降、コロナ禍を経て、2023年3月にシンガポールで第2回(通称：オーキッド会議)、2024年3月にジャカルタで第3回(通称：ジャスミン会議)を開催してきた。

2025年4月20日開催の第4回全体会議の会場となったのは再びの大阪。その1週間前に開幕した大阪・関西万博にあわせた選定であった。そして、今回の会議の通称は、第1回の桜会議の次に日本で開催した会議であることをふまえて、これから日本で満開になる花の一つ、ツツジ(アザレア)にちなみ、アザレア会議とした。



会場を彩るツツジ

松本会長 開会あいさつ

会議冒頭のあいさつで松本会長は、「今回の全体会議は、先週から始まった大阪・関西万博に時期を合わせて開催した。関西とASEANの絆を強める機会、また、万博視察は未来社会を実感する機会としていただきたい。この会議やABCプラットフォームの活動がASEANと関西の明るい未来を切り開く一助となることを祈念する」と熱く語った。



松本会長

全体活動報告

次に、ABCプラットフォームの2024年度の活動について、和田アジアビジネス専門委員長が報告した。前述のとおり、活動は「テーマ別部会」と「ABC CHALLENGEサポートプログラム」を両輪に、メンバーである各国経済団体と協力して進めていることが説明された。また、日ごろの活動に加え、関経連アセアン経営研修の実施等にも協力いただいていることに対し、感謝の言葉が述べられた。

- 続いて、事務局から
- ・テーマ別部会活動概要(P.4)
 - ・ABC CHALLENGEサポートプログラム活動概要(P.4~5)
 - ・2025年度活動計画などについて報告した。

テーマ別部会報告

4部会1グループのプロジェクトマネージャー(PM)企業・団体の出席者が報告を行った。

人材育成・活用部会 (PM: エール学園)

ベトナム、インドネシア、ミャンマー、マレーシアでの交流会や連携活動について報告。



萩原大作氏(エール学園)

医療・介護グループ (PM: 奈良東病院)

日本の高い医療技術のASEAN各国への紹介、介護人材に関するセミナー開催等の取り組みを報告。



岡田智幸氏(奈良東病院)

中堅・中小企業支援部会 (PM: りそな銀行)

インドネシア、ベトナムの最新事情に関するセミナー開催やビジネスマッチングについて報告。



高矢葉子氏(りそな銀行)

環境部会 (PM: カナデビア)

ABC CHALLENGEサポートプログラム参加企業(シンガポール、ベトナム)への支援、部会メンバーのインドネシア、ベトナムでの環境関連活動を報告。



田畑健一氏(カナデビア)

スタートアップ部会 (PM: 阪急阪神不動産)

シンガポール企業との連携や、スタートアップとの協業に関心の高い企業を取りまとめた活動等を報告。



草間徹氏(阪急阪神不動産)

※各部会の活動の詳細は、P.4表参照。



和田アジアビジネス専門委員長



表 テーマ別部会 2024年度活動概要

部会名／部会の目的	活動状況
人材育成・活用部会 アジア中核人材の育成、活用の推進	外国人留学生、就業者などの留学・就職・定住を支援するセミナーを計5回開催。うちインドネシア・ベトナムを対象としたセミナーでは、ABCプラットフォームの連携団体（インドネシア商工会議所・ベトナム商工連盟）の後援も得た。
人材育成・活用部会 医療・介護グループ 介護人材の持続可能な事業モデルの構築	外国人介護人材の雇用を促進するセミナー「外国人介護人材の行方」を開催。厚生労働省担当者による基調講演と、介護事業者・登録支援機関によるパネルディスカッションを実施。
中堅・中小企業支援部会 中堅・中小企業の海外進出支援	中堅・中小企業の海外進出を支援するセミナーを計5回開催。ABC CHALLENGEサポートプログラム2024にあたり、面談候補の関西企業を21社提示。うち3社と実際に面談が実現。
農業部会 日本の農業技術を活用した アジアの農業発展への貢献	ABC CHALLENGEサポートプログラム2024参加企業（ミャンマー）に対し、同国に展開可能な農機・技術等の情報を提供。
観光部会 日本・アジア間の交流人口の拡大	ムスリム・ベジタリアンなど多様な外国人が安心して食事を楽しめる環境整備のために設立した「食の多様性推進ラウンドテーブル」の第3回会合を開催。ピクトグラムの普及を推進する部会メンバー企業が、大阪・関西万博におけるピクトグラム提供事業者の1社に採択された。
環境部会 日本・アジアのビジネス連携を通じた アジア地域の環境改善の促進	ABC CHALLENGEサポートプログラム2024参加企業（シンガポール）に対し、部会参画団体が面談を行ったり、面談先候補企業の探索を実施。
スタートアップ部会 アジア・関西のスタートアップ企業の成長・ 相互作用を通じたイノベーションの加速	シンガポールスタートアップ業界との協業を希望する関西企業を募り、在シンガポールのスタートアップ支援施設を通じて協業先を探索。シンガポール企業庁推薦のスタートアップ5社の来日時、協業希望の関西企業を対象とするプレゼンテーションイベントを実施。

ABC CHALLENGEサポートプログラム

2023年度参加企業2社、2024年度参加企業1社の計3社からプログラムを通じた事業の進捗や、プログラムに対する評価等が報告された。

Polestar社（ミャンマー、2023年度参加）は、人材派遣事業における新たな顧客や提携先の獲得などの成果を報告。同社は本プログラムで交流した関西企業の意思決定の速さや、万博の開催地であること、文化的な価値

が高いといった関西の地理的な重要性を評価し、日本法人を大阪に設立しており、観光や商社業務の分野で関西との連携を深めていく等の展望を語った。



Polestar社
チョー・ミン・ティン会長

Flexspeed Technology社（シンガポール、2023年度参加）は、まず、シンガポール企業における海外展開の重要性を紹介。その上で、「さまざまな日本企業とつながりが得られただけでなく、日本の先進技術を習得することができた」とプログラムの魅力を語った。また、今後の事業機会の創



Flexspeed Technology社
チャン社長



Myanmar Belle Group
マウン会長

出、技術移転に向けた日本企業との関係構築等に関し、プログラムへの期待を述べた。

Myanmar Belle Group（ミャンマー、2024年度参加）は、冷凍野菜・乾燥野菜の日本への輸出も手掛ける等、高品質の製品の製造・輸出を行っている。同社は、「播種（種まき）、施肥等、生育に関する日本の最新機器についてだけでなく、粉末化・加工等、作物に付加価値を与える技術について学べた」とプログラムの魅力を述べ、「農家の作業効率化に役立つ優れた技術を有する企業と連携を継続している」と事業の進捗を紹介した。2024年度参加企業の活動概要はP.5のとおり。

なお、さらに成果が上がる手法なども検討しながら、2025年度もプログラムを引き続き実施する。

ABC CHALLENGEサポートプログラム2024 活動概要

インドネシア

Tenue de Attire

事業紹介／希望協業領域

- 伝統衣装のバティックを現代風に解釈した服飾製造および販売を手掛ける。
- 日本の伝統衣装とのコラボレーション、自社商品の日本での販売先獲得を希望。

訪問先・主な成果

服飾および服飾雑貨のメーカー等と面談。日本のはんてんを現代風にアレンジする服飾メーカーから、インドネシアに商品を輸入することで合意。



マレーシア

Flortech

事業紹介／希望協業領域

- 食品工場等に使用されるポリウレタン塗床塗料の製造および施工を手掛ける。
- 塗料の原料となる油脂の調達元の開拓、塗料販売先の拡大をめざし参加。

訪問先・主な成果

調達元開拓のため、塗料メーカーと面談。1社とサンプル供給等、詳細を検討中。販売先拡大では、関経連ネットワークを生かし日本だけでなく他のアジア諸国との面談も実施。



ミャンマー

Myanmar Belle Group

事業紹介／希望協業領域

- 野菜の生産・加工（冷凍・乾燥）、物流・小売業等を手掛けるコングロマリット企業。
- 加工野菜の品質向上、日本における販売先拡大を目的に参加。

訪問先・主な成果

野菜の品質向上に向け、食品添加物メーカーと面談。今後現地で実証実験予定。また野菜の販路拡大のため、日本の食品商社とも面談。



フィリピン

Likhang Maragondon Native Products Trading

事業紹介／希望協業領域

- ルソン島カビテ州伝統の竹を用いた工芸品を製造・販売。
- 製品の品質向上に向けた技術移転、工芸品の販売先獲得を目的に参加。

訪問先・主な成果

日本への輸出・販売に向け、専門商社や展示会等で商談を実施。また、竹製品の耐久性向上をめざし、塗料メーカーとの間で実証実験を検討中。



シンガポール

Cyclect Group

事業紹介／希望協業領域

- シンガポールほか東南アジア諸国に展開するエンジニアリング企業。
- 再生可能エネルギー、廃棄物発電等のプロジェクトで協業できる日本企業の開拓を目的に参加。

訪問先・主な成果

環境技術（水処理、土壌処理）関連のメーカー、エンジニアリング会社等と面談。具体案件での技術採択・納入に向け今後も検討を継続。



タイ

Empire Recover

事業紹介／希望協業領域

- バンコク市内でリハビリテーションクリニックを経営。
- 日本製の理学療法機器の導入、日本式の技術・ホスピタリティ、経営ノウハウ等の習得をめざし参加。

訪問先・主な成果

奈良東病院（医療・介護グループPM）を訪問、経営面での課題や方策等に関して意見交換。また医療機器メーカーも訪問し、導入に向け検討を継続。





各国経済団体による意見交換

以上の報告・発表をふまえ、各国経済団体の出席者による意見交換が行われた。

インドネシア商工会議所のエマニュエル・ワナンディ副会長からは、「医療・介護分野をはじめさまざまな業種で人員が不足している日本の現状をふまえ、日本での活躍を希望するインドネシア人材の円滑な就労に向け、連携を強化したい」との要望があった。



インドネシア商工会議所 ワナンディ副会長

ミャンマー商工会議所連合会のエーウィン会長からは、まず今年3月28日にミャンマーで発生した大地震への迅速な人道的支援、専門家の派遣等への謝辞が述べられた。そして、復興フェーズでの各団体との連携をベースとした継続的な支援の必要性を訴えられた。活動に関しては、人材育成、中堅・中小企業支援、スマート農業等の分野での取り組みが紹介され、人材育成、中堅・中小企業支援などについては、連携の継続が要請された。



ミャンマー商工会議所連合会 エーウィン会長

フィリピン商工会議所のエヌニナ・V・マンジオ会長は「両国のパートナーシップが高度専門人材やインフラストラクチャーの分野等の課題解決に役立った」「7月に『フィリピン-日本ビジネスカウンシル』で再度関西を訪問する際に、関西企業との交流をさらに深めたい」と語った。



フィリピン商工会議所 マンジオ会長

シンガポール製造業連盟のダグラス・フォー前会長は、「ASEANは2030年にプレゼンスを高めることができる重要な地域。データやAIを活用してさらに連携を深め、相互にコミュニケーションを取り、ともに成長していきたい」と話し、ABCプラットフォームのさらなる飛躍に期待を寄せた。



シンガポール製造業連盟 ダグラス・フォー前会長

タイ工業連盟のクリアクライ・ティエンヌクン会長からは、「医療・介護分野に強みがあり、日本を含め多くの国と連携している」とのタイの紹介と、「今後、よりスピーディにテーマを絞って活動すること、各国との協力により、それぞれの国の強みを取り入れること」等、ABCプラットフォームへの提案が語られた。



タイ工業連盟 クリアンクライ会長

大阪・関西万博視察

全 体会議の翌日4月21日には、大商との共同開催で、今回参加した各国経済団体などを

対象とする万博視察を実施した。

住友館・日本館・大阪ヘルスケアパビリオンや水上ショー等の見学を行い、参加者に万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」を体感いただいた。また、復路は、岩谷産業などが運航する「まほろば」に乗船、水素燃料電池船を体験していただいた。



大阪・関西万博視察の様子

新たな取り組み、 トップミーティング

今回、新たな取り組みとして、4月19日～22日に各国の経済団体トップと松本会長との個別会談を行った。そのねらいは、各リーダーとしっかり向き合う機会を持つことで、それぞれが考えているプロジェクトやアイデアを聞き、よりハイレベルな議論につなげることである。今回は、シンガポール製造業連盟、インドネシア商工会議所、ミャンマー商工会議所連合会、タイ工業

連盟、フィリピン商工会議所の5団体と実施した。

会談では、マルチステークホルダー資本主義の考え方・概念、地方分権と政治構造、医療・介護人材をはじめとする人材の活用、ビジネスマッチング、関経連アセアン経営研修、人材育成プロジェクト・人材交流・交換留学プログラム等、多岐にわたる話題が出て、各国から現状をふまえた意見・提案が表明された。

今後、各国と日本が共に抱える社会課題を具体的に取り上げ・検討する、新たな枠組み「共同検討チーム」を設け、解決策を探ることで合意した。

次回全体会議は、 バンコクで開催予定

個別会談等を実施した効果もあり、今回の一連の会議を通じて、これまで以上に双方向で各国と意見を交わし、連携していこうという機運が高まった。また、ABCプラットフォームに参加している各国経済団体間の連携も深まってきている。

次回、第5回全体会議は、タイ・バンコクでの開催を予定している。ABCプラットフォームのさらなる進化・成果を報告できるよう、2025年度も「テーマ別部会」「ABC CHALLENGEサポートプログラム」の活動を軸に、共同検討チームでの議論など新たな取り組みにも着手し、成果を生み出していく。

(国際部 水上禎三・鈴木恵三)

トップミーティングの様子

- ①インドネシア
商工会議所
- ②ミャンマー
商工会議所連合会



- ③タイ工業連盟
- ④フィリピン商工会議所